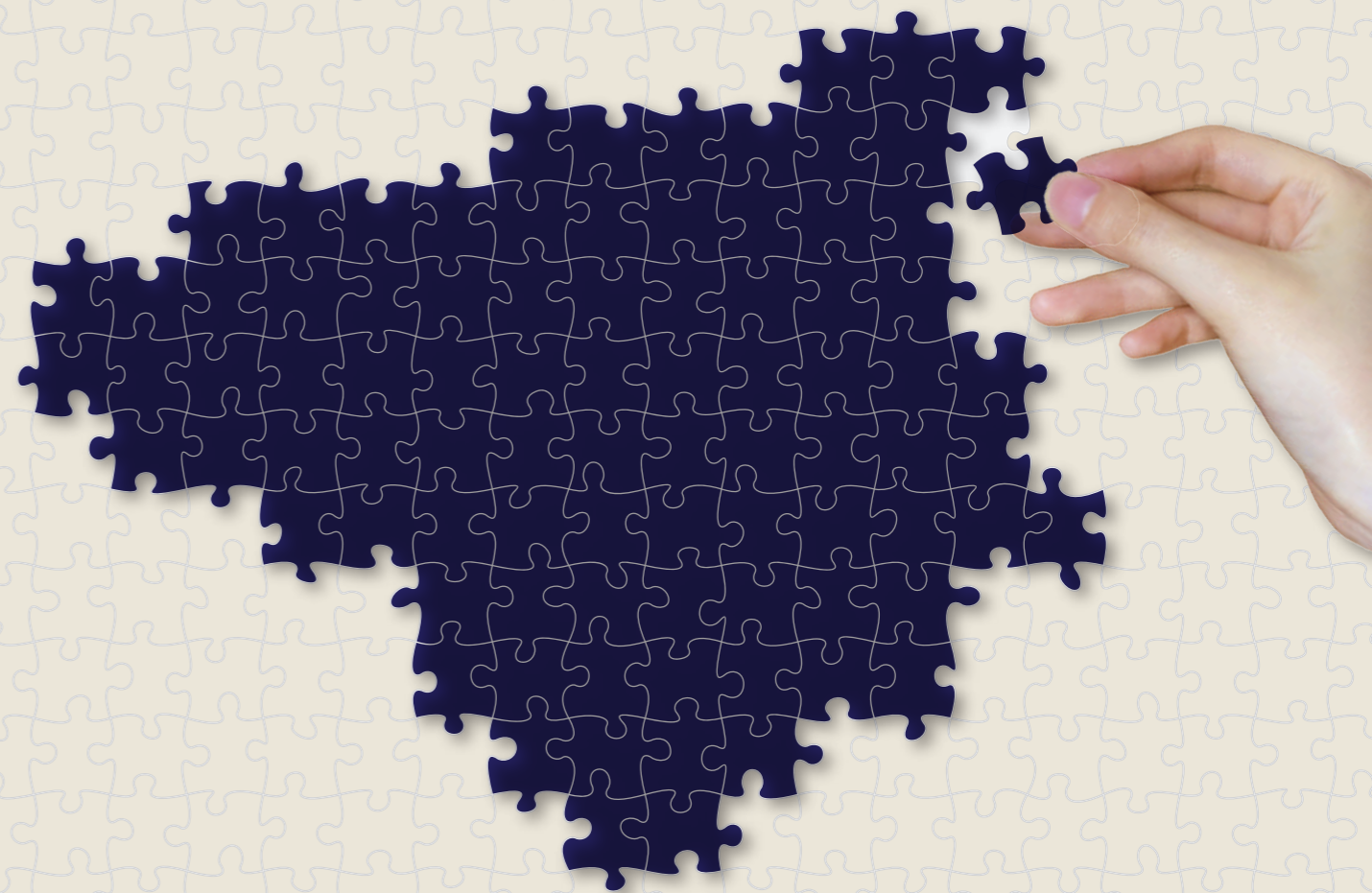


TOKUSHIMA 2024

職員採用案内



未来に引き継げる徳島の実現

現在、本県をはじめとした地方では、少子高齢化や若者の流出、それに伴う労働力不足など、静かなる有事が進行しており、徳島は、今まさに、勝ち組と負け組が分かれる地方の正念場「地方創生戦国時代」の真っ只中にあると言えます。

このような厳しい環境に臆することなく、激しい競争を勝ち抜き、すばらしい徳島を未来に引き継いでいくため、「県民目線」と「現場主義」で「未来志向の挑戦」ができる人材を求めています。

達成すべきミッション

私が知事就任後に策定した徳島県版・骨太方針「『徳島新未来創生』政策集」に掲げるミッション「安心度UP」、「魅力度UP」、「透明度UP」に基づく政策の実現に積極的に取り組んでいます。

● 安心度UP

こどもたちが多様性を尊重し、主体的に行動できる力を育むなど徳島新未来創生に向けた教育再生や、切れ目のない子育て支援・「こどもの居場所づくり」などによる「こどもまんなか社会」の実現、県民の皆様が安心して暮らせる医療・介護・福祉の充実と健康づくりの推進、南海トラフ巨大地震をはじめとする自然災害などを迎え撃つ危機管理体制の充実と県土強靱化など

● 魅力度UP

新ホールやアリーナ整備などによる県都のまちづくりや、国際線の誘致・宿泊キャパシティの拡大による観光立県の推進、徳島の観光・物産・食の積極的なプロモーション展開や国内外の販売ルートの拡充による攻めの農林水産業の推進、蓄電池関連産業が集積するバッテリーバレイの構築などによる地域経済を牽引する企業の成長と新産業の創生など

● 透明度UP

県民参加型の開かれた県政運営の推進、職員の働き方改革の推進による県政運営体制の刷新や、フロー・ストック両面からの持続可能な財政運営の推進など

こうした異次元の政策を実現するためには、既成概念にとられない新しい発想を持った皆さんの力が必要です。

徳島新時代へ

徳島は阿波藍の産地・青色LED発祥の地としての「サステナブル」、豊かな自然環境がもたらす食の宝庫としての「ナチュラル」、四国遍路発心の地としての「スピリチュアル」といった魅力のあふれる地です。

これらの強みを最大限に活かし、「ずっと居りたい」、「いつも帰りたい」、「みんな行きたい」と感じていただける徳島を目指し、いっしょに徳島の未来をつくりましょう！

徳島県知事 後藤田 正純

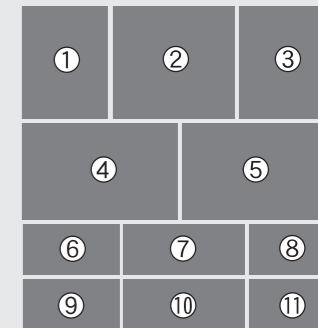


CONTENTS

01	知事メッセージ	15	勤務条件等
03	職員インタビュー	16	組織図・職種紹介
11	新規採用職員座談会	17	よくある質問
13	子育て支援制度・育児体験記	18	採用までの主な流れ
14	研修制度・人事交流／県庁働き方改革		

徳島県は こんな事業展開中！


- ① 高校生が「阿波藍」をテーマに商品をプロデュース
- ② 「世界阿波おどりコンテスト」
- ③ 移住促進による農業の担い手の育成・確保
- ④ 徳島の魅力発信イベントにて大阪・関西万博PR
- ⑤ 県立博物館「ティラノサウルス全身骨格」
- ⑥ 徳島ビジネスチャレンジメッセ2023
- ⑦ 東部防災館おきのすインドアパーク
～「災害時」と「平時」リバーシブルに活用～
- ⑧ 新たなステージへ！高校生キャリア交流会inにし阿波
- ⑨ 5G技術を活用した遠隔医療の推進
- ⑩ 大鳴門橋自転車道完成イメージ
- ⑪ 徳島県産養殖サツキマス




＜④の二次元コードから関連動画が見られます＞



● 県職員・職種の魅力
キャリアビジョンの実現に向けて挑戦できる

 東部保健福祉局<徳島保健所> 主事
海老名 和 令和4年度入庁 (10月採用)


【過去の所属歴】
● 令和4年度：東部保健福祉局<徳島保健所>

 保健師


徳島県の保健師の配属は保健所だけでなく、万代庁舎や子ども女性相談センター（児童相談所）など多岐にわたります。また、健康づくり、母子保健、精神保健、難病保健、感染症対策、産業保健など幅広い分野で専門性を生かし活躍することができます。

どの分野においても、当事者や家族、協働する関係者とともに考え、地域の健康課題解決のために働くことができるのが保健師の大きな魅力のひとつだと思います。

● 県職員・職種の魅力
自身のステップアップにつながる職場がある

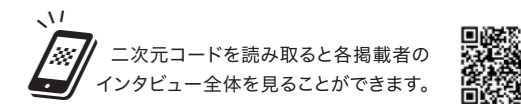
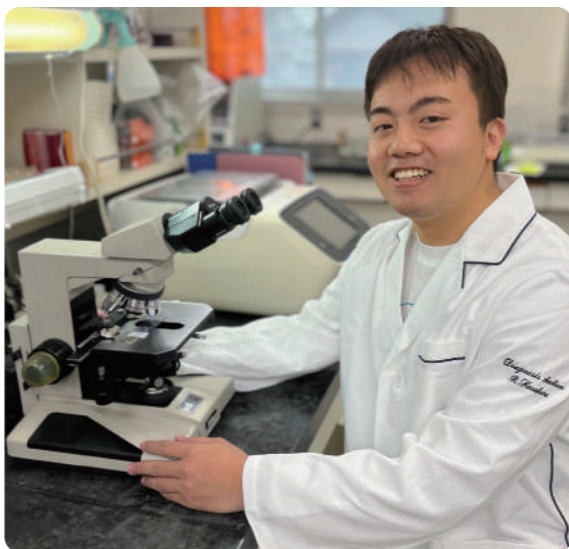
 徳島家畜保健衛生所 主事
笠原 利気 令和4年度入庁

【過去の所属歴】
● 令和4年度：徳島家畜保健衛生所


 獣医師

公務員獣医師の業務は幅広く、畜産、研究、診療、食品衛生、動物愛護などいろいろな分野の職場で勤務することができます。特に徳島県は農林水産分野と公衆衛生分野間の人事異動がよく行われています。


大変なことも多いですが、その分多くの分野にわたる知識や技術を身につけることができます。大学生活を通して学んだことを活かせる機会が多く、様々な形で県民の皆様に貢献できることにやりがいを感じます。



● 県職員・職種の魅力
多様な職種の職員と働くことができる

 スポーツ振興課 主事
佐藤 穂波 令和元年度入庁


【過去の所属歴】
● 令和元年度：職員厚生課
● 令和3年度：東部保健福祉局<徳島>
● 令和5年度：スポーツ振興課

 行政事務

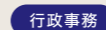
行政事務の魅力は、多種多様な業務を経験できることだと思います。外に出て、県民の皆様と関わりをもつ機会が多い職場もあれば、職員を相手に業務を行う職場もあります。1つの課の中にも、イベントを担当する職員もいれば、補助金を担当する職員もいます。

勤務先を変えずにこれだけ様々な分野に携わることができるのは県職員ならではの感覚、多様な職種の職員と働くことができる点も大きな魅力だと思います。

● 派遣中職員の声 財務省派遣
専門性の高い知識を身につけ成長できる

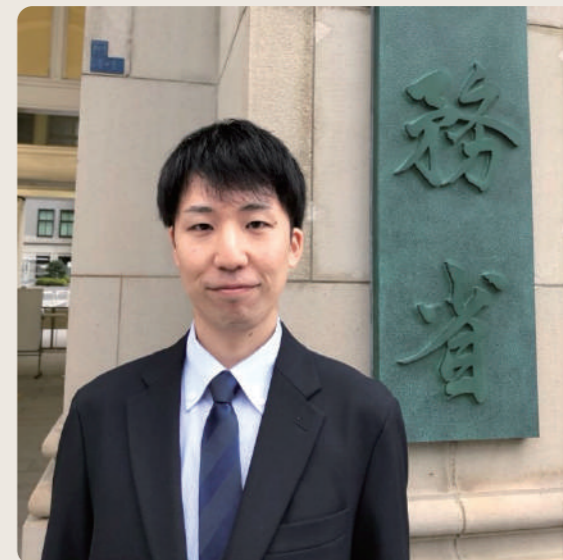
 主計局 係員
森内 亮太 令和元年度入庁

【過去の所属歴】
● 令和元年度：東部県土整備局<吉野川>
● 令和3年度：危機管理政策課
● 令和5年度：財務省派遣


 行政事務

現在の仕事の魅力的な部分は、自分たちの事業に強い思いを持った相手省庁の方々と、忌憚なく事業について話し合い、予算という大きな作品を作り上げていけることにあります。


その中で、財政や事業の知識が身につくことに留まらず、財務省(国)としての考え方を知ることができており、徳島県庁に戻ってからも活かせる貴重な経験とともに、自分自身の成長につながっています。



● 県職員・職種の魅力
業務を通して徳島の魅力を再発見できる

 ダイバーシティ推進課 主事
淡島 珠里 令和4年度入庁

【過去の所属歴】
● 令和4年度：ダイバーシティ推進課

 行政事務


入庁後すぐに自分の業務がしっかりと割り当てられ、県職員としての責任感が一気に高まります。

行政事務は特別な資格を持つ職種ではありませんが、自分の業務の枠を超えて様々な分野で活躍すると繋がることができ、知見、経験を広げながら自分自身を大きく成長させることができる職場です。


業務内容は多岐に渡りますが、全てが自分の住む地域の活性に繋がっていると思うと、とてもやりがいを持って働くことができます。



● 県職員・職種の魅力
変わっていく姿を間近で実感できる

 中央子ども女性相談センター 主事
小林 悠 令和3年度入庁

【過去の所属歴】
● 令和3年度：中央子ども女性相談センター

 福祉

現在は、児童福祉司として虐待対応や不登校相談、非行相談、子どもの発達や育児にかかる相談等に携わっています。関係機関と連携し支援していく中で、保護者と子ども自身が時には葛藤しながらも問題解決に向かって行動変容するプロセスを間近で実感できる瞬間は福祉職の魅力であると考えています。

難しい場面に直面することもあります。考え続けることで新しい気づきが生まれ、自己の成長にも繋がると考えています。



● 県職員・職種の魅力

社会への貢献を実感できる



営繕課 主任主事

福永 柚理子

平成29年度入庁

【過去の所属歴】

- 平成29年度：営繕課
- 令和2年度：東部県土整備局<徳島>
- 令和5年度：営繕課

「建築職」といっても政策立案、イベント企画、審査、設計工事など様々な分野において挑戦することができます。業務では、難しい課題に直面することもあります。先輩職員や同僚、他職種の方と力を合わせて解決してきました。

また、建築学科出身以外の職員も多く、一人ひとりが得意分野でよりよい徳島県になるよう助け合い、チームとなって働いていることを日々実感しています。



● 県職員・職種の魅力

スケールが大きく、多種多様な
業務に携わることができる



選挙管理委員会事務局 主任主事

和泉 貴也

平成28年度入庁

【過去の所属歴】

- 平成28年度：観光政策課
- 令和3年度：ワクチン・入院調整課
- 令和元年度：東部保健福祉局<徳島>
- 令和4年度：選挙管理委員会事務局

県職員は、仕事のスケールが大きく、多種多様な業務に携わることができます。定期的に異動があり、業務内容も大きく変わるため、大変な部分もありますが、その都度、新たな発見や、やりがいがあります。

自分が担当する仕事によって、達成すべきミッションは細かく決まっていますが、どの仕事も最終的なミッションは「徳島県を良くする」ことであり、同じ志を持った職員が集まっている徳島県庁は動きやすい環境だと思っています。

● 県職員・職種の魅力

文化活動の拠点を作り上げることができる



博物館 主任学芸員

小布施 彰太

令和4年度入庁

【過去の所属歴】

- 令和4年度：博物館

徳島県立博物館は、県庁から少し離れた文化の森総合公園というところにあります。この公園には、博物館の他にも、図書館、近代美術館、文書館、二十一世紀館、鳥居龍蔵記念博物館といった様々な施設が集まっており、各館の職員は自分の専門性を活かし、徳島の文化を中心とした多くの魅力的なコンテンツを取り扱っています。様々な職種の職員が協力し、徳島の文化活動の拠点となる場所を作り上げることができる点に魅力を感じています。



二次元コードを読み取ると各掲載者の
インタビュー全体を見ることができます。



● 県外社会人枠採用職員の声

【ターン職員】

先駆的な取組や徳島で活躍する「人」に魅力を感じた



文化・未来創造課 主任

花谷 真理

令和5年度入庁 (1ターン職員)

【過去の所属歴】

- 令和5年度：文化・未来創造課

以前から徳島県や県内各市町村の先駆的な取り組みを目にすることが多く、何度か徳島に足を運んでいた中で、気候などの「風土」や徳島で活躍される「人」に魅力を感じ徳島への移住を決めました。

民間企業等でさまざまな経験をするなかで、公務員の仕事はいろんな視点から地域づくりに関われるところが面白いと感じていたこともあり、自身が魅力を感じ住みたいと思った地域をより好きに、良い地域にしたいと思い、県職員という仕事を選びました。

● 県職員・職種の魅力

関係機関と協力して1つのものを
作り上げることができる



東部農林水産局<吉野川> 主任

岡本 雅美

平成28年度入庁

【過去の所属歴】

- 平成28年度：東部農林水産局<徳島>
- 令和元年度：農林水産基礎整備局生産基盤課
- 令和3年度：西部総合県民局農林水産部<三好>
- 令和5年度：東部農林水産局<吉野川>

総合土木職で携わる施設は、農業用施設のほか河川、道路、防災施設など多岐にわたります。また、仕事内容も現場業務以外にも、県全体を見通し予算や事業管理を行うこともあります。数年ごとの異動のたび、多種多様な経験や学びを得られることは、総合土木職の魅力だと思います。

また、県全域にて事業を行っていますので、異動で新たな庁舎に行くと、これまで知らなかった風土や人を知ることができるのも魅力だと思います。



● 県職員・職種の魅力

スキルアップを実感できる



企業局経営企画戦略課 主任

久木 卓真

平成25年度入庁

【過去の所属歴】

- 平成25年度：企業局総合管理事務所
- 令和元年度：企業局経営企画戦略課
- 令和2年度：総務省派遣
- 令和4年度：企業局経営企画戦略課

電気職が取り扱う設備は、水力発電所、太陽光発電所等の発電設備や、工業用水道設備、駐車場等多岐にわたります。全ての設備が県内の社会インフラの一部を担っており、電気・水の安定供給等を通して徳島県の発展や県民の皆様の生活に寄与することができます、やりがいのある仕事です。

また、現場で学んだ知識を経営計画に反映させたり、経営の知識を工事設計に反映させたり、蓄積した経験を活かした仕事ができることも魅力です。

係長・課長補佐

中堅職員として、部下の指導や管理職の補佐をする役割



● 県職員・職種の魅力

こどもの未来のために働くことができる



中央こども女性相談センター 係長
坂井 清香 平成20年度入庁

- 【過去の主な所属】
- 平成20年度：中央児童相談所 技師
 - 平成22年度：中央こども女性相談センター 主任主事
 - 平成23年度：西部総合県民局保健福祉環境部＜美馬＞ 主任主事
(平成25年3月～平成26年3月 育児休業)
(平成26年10月～平成27年4月 育児休業)
(平成27年5月～平成27年8月 育児短時間勤務)
 - 平成28年度：中央こども女性相談センター 主任
 - 令和4年度：中央こども女性相談センター 係長

「心理職」の魅力は心理検査や心理面接、心理教育などを通じて、人を理解し、その人が生きやすくなるためのきっかけ作りができることです。何かをしてあげるのではなく、その人と一緒に変化を作っていくという考えです。特にこどもはその変化が大きく、長期的には虐待予防にもつながります。様々な専門職で包括的に関わっていけるのも魅力です。決して目立つ仕事ではなく、感謝されることも少ないですが、こどもや家族の変化がやりがいになっています。

● 県職員・職種の魅力

環境施策等の最前線に関わることができる



環境管理課 係長
中石 明希 平成21年度入庁

- 【過去の主な所属】
- 平成21年度：保健環境センター 研究員
 - 平成23年度：保健製薬環境センター 主任研究員
(平成25年2月～平成27年4月 育児休業)
 - 平成30年度：東部保健福祉局＜徳島保健所＞ 主任
 - 令和2年度：環境管理課 主任
 - 令和3年度：環境管理課 係長

化学職の配属先は、主に環境保全及び産業振興に関わる部署です。私自身は、これまで工場の排水規制、環境の調査・研究、環境衛生に関する監視指導の業務に携わってきました。

環境問題の多様化・複雑化により、環境行政の課題も従来の公害対策から脱炭素、海洋ごみ、生物多様性等まで多岐に渡ります。このような課題に、科学リテラシーを持って取り組み、県民の皆様より良い生活環境に貢献できるのは化学職の醍醐味だと思います。



● 派遣中職員の声

海陽町派遣

自身の力を成長させ、県民のために発揮できる



海陽町にぎわい創造幹
森 建介 平成15年度入庁

- 【過去の主な所属】
- 平成15年度：日和佐福祉事務所 主事
 - 平成22年度：医療健康総局医療政策課主任主事
 - 平成25年度：地域振興総局市町村課 主任
 - 令和2年度：病院局総務課 係長
 - 令和5年度：海陽町派遣

県職員の業務は多岐にわたり、様々な分野の業務を経験することになります。今回の長期派遣では、徳島県庁という組織を離れ、海陽町観光交流課で業務を行っています。住民に身近な地方現場に身を置き、直接地域の皆様の声を聞き、事業や政策を通して貢献していくという貴重な機会となっています。これまでの業務経験を活かした事業展開や組織間調整を行うことで、自身の成長と知見の広がりを実感しており、大きな財産となっています。



二次元コードを読み取ると各掲載者のインタビュー全体を見ることができます。



● 県職員・職種の魅力

技術を習得し農業の発展に貢献できる



農林水産総合技術支援センター農産園芸研究課 専門研究員
建本 聡 平成23年度入庁

- 【過去の主な所属】
- 平成23年度：南部総合県民局農林水産部＜阿南＞ 主事
 - 平成26年度：監査評価検査課 主任
 - 平成29年度：農林水産総合技術支援センター農産園芸研究課 主任
 - 令和2年度：農林水産総合技術支援センター農産園芸研究課 係長
 - 令和5年度：農林水産総合技術支援センター農産園芸研究課 専門研究員



農業職は、専門知識を活かしながら様々な分野の業務に携わることができます。最初に配属された部署では、普及に関する業務を担当し、担当品目の栽培指導を行っていました。

現在の所属では研究担当として、これまでに習得した栽培管理の知識に加え、新たにプログラムの知識を習得し、AIを用いたスマート技術の開発に取り組んでいます。新しい技術の習得・活用が、現場課題の解決につながり、日々の業務に充実感を覚えています。農業職は様々な分野で活躍できるので、自分の適性に合った分野を選択できることが魅力であると考えています。

● 県職員・職種の魅力

他の業務に繋がる幅広い視野と知識を習得できる



東部保健福祉局＜徳島保健所＞ 課長補佐
竹谷 水香 平成9年度入庁

- 【過去の主な所属】
- 平成9年度：日和佐保健所 技師
(平成13年3月～平成14年1月、平成15年11月～平成16年12月 育児休業)
 - 平成18年度：吉野川保健所 技術主任
 - 平成28年度：西部総合県民局保健福祉環境部＜美馬＞ 係長
 - 令和2年度：健康づくり課 課長補佐
 - 令和5年度：東部保健福祉局＜徳島保健所＞ 課長補佐

これまで、5カ所の保健所と県立病院、そして万代庁舎に配属になり、管理栄養士として多様な業務を経験してきました。特に県立病院では病院でしか取得できない資格を取得し、その経験は保健所や万代庁舎での業務に役立っています。

配属先によっては、一から学び苦労することもあります。そこで経験したことは必ず他の業務にも繋がっており、幅広い視野と知識を習得することができるのが県職員の魅力であると感じています。



● 県職員・職種の魅力

物事を多面的に捉える力が養われる



こども未来局こどもまんなか政策課 課長補佐
青木 豊泰 平成14年度入庁

- 【過去の主な所属】
- 平成14年度：環境局廃棄物対策課 主事
 - 平成20年度：総務局派遣
 - 平成22年度：地域振興総局地域情報課 主任主事
 - 平成24年度：議会事務局総務課 主任
 - 平成30年度：教育委員会教育政策課 係長
 - 令和5年度：こども未来局こどもまんなか政策課 課長補佐

県職員として働く魅力は、様々な分野や業界に携われる事です。これまで廃棄物行政や地域情報化の推進、教育委員会や議会事務局への出向、国への派遣研修等を経験しました。業務を通じて多くの方と知り合えただけでなく、物事を多面的に捉える力が養われたと認識しています。変化の激しい時代に行政が直面する課題も複雑・高度化しており、全ての面で優れた施策を創る事は難しいですが、県民生活の向上に貢献できる事は大きな喜びとやりがいです。





● 県職員・職種の魅力
地図に残る仕事ができる



スマート林業課 課長
平島 聡一郎 平成4年度入庁

- 【過去の主な所属】
- 平成4年度：島町農林事務所 技師
 - 平成15年度：農林水産部 技術主任
 - 平成22年度：林業振興局 林業振興課 係長
 - 平成28年度：林業戦略課 新次元プロジェクト推進室 室長補佐
 - 令和元年度：鳥獣対策・ふるさと創造課 副課長
 - 令和4年度：総合政策課 政策調査幹（農林水産担当）
 - 令和5年度：スマート林業課 課長

県土の約4分の3を占める森林が、林業職員のメイン舞台です。自然を相手にする苦労もありますが、「百年後の森林デザイン」に思いをはせ、多様性に富んだ森づくりや、木材搬出の林道づくり、木造施設の建築、国土を守る治山事業など、地図に残る仕事をできるのが魅力の一つです。また、木質バイオマスの利用推進や野生鳥獣の適正管理なども林業職場の範囲なので、自然環境系の勉強や仕事に携わった方も即戦力になります。

● 県職員・職種の魅力

様々な分野で視野・人脈を広げ成長できる



保健製薬環境センター 所長
相原 文枝 平成3年度入庁

- 【過去の主な所属】
- 平成3年度：中央病院 技師（平成10年10月～平成11年8月育児休業）
 - 平成14年度：徳島保健所 技術主任
 - 平成21年度：製薬指導所 生薬製剤科長
 - 平成23年度：東部保健福祉局<徳島保健所> 係長
 - 平成28年度：薬務課 課長補佐
 - 平成30年度：東部保健福祉局<徳島保健所> 課長
 - 令和2年度：保健製薬環境センター 次長（令和5年度所長）

県職員の薬剤師は、医療、薬事、保健、食品衛生、環境など、様々な分野を経験できることが大きな魅力です。県職員にならなければ知ることのできなかった世界を経験し、多くの貴重な出会いに恵まれ、少しずつ成長できたと思います。

いずれの職場も「面白さ」と「難しさ」があり、関係部局の方々と連携し、どうすればできるか考え抜いて、県民の皆様の健康や環境を守るため誠実に取り組むことにやりがいを感じています。



● 県職員・職種の魅力
自らのアイデアを施策として具現化できる



グリーン社会推進課炭素推進室 室長
小山 高弘 平成9年度入庁

- 【過去の主な所属】
- 平成9年度：農林政策課 主事
 - 平成20年度：人事課 事務主任
 - 平成26年度：長寿保険課 係長
 - 令和元年度：財政課 課長補佐
 - 令和3年度：農林水産政策課 副課長
 - 令和5年度：グリーン社会推進課炭素推進室 室長

県職員、特に行政事務の魅力は、様々な部局を経験でき、県全域や圏域ごとの広範な課題に取り組めるところにあります。決められた業務だけでなく、自らのアイデアを政策として具現化する、企画立案業務にも携われるところが醍醐味です。

自分の考えを条例や予算として形にするには、根拠の確認や関係者との調整、議会の同意などのプロセスが重要となりますが、それらを一つ一つクリアしていくことで、自分自身の成長にも繋がります。

● 県職員・職種の魅力
地域の将来デザインを自ら描くことができる



理事
佐藤 美奈子 昭和60年度入庁

- 【過去の主な所属】
- 昭和60年度：医務課 主事
 - 平成12年度：保健福祉政策課 事務主任
 - 平成17年度：東京事務所 係長
 - 平成23年度：政策企画総局 課長補佐
 - 平成27年度：人事課 行政改革室 室長
 - 令和元年度：県土整備部 次長
 - 令和5年度：理事

行政職として、これまで保健福祉、商工労働観光、企画、総務、交通政策などの業務分野を経験しました。幅広い仕事で構成される職場「徳島県」の中で、何が自分に向いているのか、この判断は正しかったのかと、経験を積んでもなお自問自答の日々です。異動すれば仕事も人間関係も変わるため、慣れるまでは大変ですが、その経験値や人脈が仕事の幅を広げてくれます。正解が一つではないのも県職員の特徴であり、何より自ら住む地域の将来デザインを、一部であっても自ら描いていけるのが県職員の醍醐味だと思います。



● 県職員・職種の魅力
後世に残る仕事に携わることができる



県土整備部 県土強靱化統括監
榎本 茂樹 昭和58年度入庁

- 【過去の主な所属】
- 昭和58年度：徳島土木事務所 技師
 - 平成10年度：公園下水道課 技術主任
 - 平成16年度：日和佐土木事務所工務課 河川砂防係長
 - 平成23年度：河川局河川整備課 課長補佐
 - 平成27年度：県土整備政策課 副課長
 - 平成28年度：総合政策課 政策調査幹（県土整備担当）
 - 平成30年度：県土整備政策課 課長
 - 令和3年度：東部県土整備局 局長
 - 令和5年度：県土整備部 県土強靱化統括監

総合土木職の職員は、万代庁舎においては、道路や河川といった分野ごとに、施策・取組方針の企画立案や予算の確保といった業務を行っています。東部県土整備局などの庁舎においては、具体的に道路や橋梁、河川堤防や排水機場などの公共工事を発注し、工事監督を行い、完成供用させるといった業務を行っています。公共事業と一括りに言っても分野が多岐に渡り、その業務も幅広いものになっており、個々の知識や経験をそれぞれの部分で活かせることは、大きな魅力の一つであると思います。



● 県職員・職種の魅力
徳島は水産職を志望するには魅力ある環境



農林水産総合技術支援センター
マリンサイエンスゾーン推進幹
山本 浩二 平成5年度入庁

- 【過去の主な所属】
- 平成5年度：水産試験場 研究員
 - 平成14年度：水産課 技術主任
 - 平成21年度：ブランド戦略総局水産課漁業調整室 係長
 - 平成26年度：南部総合県民局産業交流部<美波> 主査兼係長
 - 平成28年度：水産振興課 課長補佐
 - 令和4年度：水産振興公害対策基金派遣
 - 令和5年度：農林水産総合技術支援センター マリンサイエンスゾーン推進幹

水産職を志望する人は、魚（水産物）が好きの方が多くいると思います。私自身、釣りが大好きで自分で料理して食べるのも好きという理由で水産職を選択しました。仕事の内容は様々ですが、実際の漁業現場での経験や、漁業関係者との出会いなどを通じて、水産業の重要さや楽しさを実感しています。

特に本県は、複数の異なる海洋環境を有し、様々な漁業が営まれており、獲れる水産物の種類も多彩です。水産職を志望する方にとって、魅力ある環境で仕事ができるものと考えています。









round-table talk 新規採用職員座談会

「とくぎん」モニプラザ（徳島県青少年センター）にて

様々な分野で日々業務に励んでいる入庁1年目の職員4名に、入庁の決め手や仕事のやりがい、試験対策などについてざっくばらんに語ってもらいました。

 <p>大田 佳歩 (行政事務) 観光政策課 観光産業担当</p> <p>●業務内容 旅行業者の登録事務や観光振興イベントの企画運営に携わる。 ●その他 好きな食べ物はお刺身。休日は、クラシックバレエを鑑賞してリフレッシュしている。</p> <p>ある日のスケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> 9:30 始業・メールチェック 10:00 旅行業者との打ち合わせ 12:00 昼食・県産食材が使われた宅配弁当 13:00 徳島阿波おどり空港にて台湾チャーター便のお出迎え 18:15 退庁 	 <p>尾田 優紀 (農業) 西部総合県民局農林水産部<三好>にし阿波ブランド推進担当</p> <p>●業務内容 地元農家への栽培技術の普及や農業遺産の魅力発信に取り組む。 ●その他 好きな食べ物は塩ラーメン。休日は、近隣県にショッピングへ繰り出している。</p> <p>ある日のスケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> 8:30 始業・メールチェック 9:30 地元農家の土壌分析 12:00 昼食・先輩職員と近隣の飲食店へ 13:00 地元農家を訪問・助言 17:15 退庁 	 <p>藤岡 良太 (行政事務) 西部総合県民局県土整備部<阿南>施設管理担当</p> <p>●業務内容 港湾や海岸などの施設を適切に運営するための管理業務を行う。 ●その他 好きな食べ物はフィッシュカツ。休日は、弓道をして鋭気を養っている。</p> <p>ある日のスケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> 8:00 始業・メールチェック 10:00 現場にて技術系職員と工事の打合せ 12:00 昼食・お手製弁当を食べる 13:00 国土交通省と河川利用に関する協議 16:45 退庁 	 <p>加賀 彩乃 (福祉) 長寿いきがい課 在宅サービス指導担当</p> <p>●業務内容 介護事業所への訪問・運営指導や認知症介護力向上のための研修会を行う。 ●その他 好きな食べ物はチョコレート。休日は、好きな映画を見て楽しんでいる。</p> <p>ある日のスケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> 8:30 始業・メールチェック 9:00 県内の介護事業所を訪問 12:00 昼食・訪問先の近辺の飲食店へ 13:00 認知症介護力向上のための研修会開催に向けた準備 17:15 退庁
---	--	--	--

徳島県庁を選んだ理由は？

尾田:生まれ育った徳島の農業に貢献したいと思ったからです。身内が農家だったこともあり、幼い頃から農業が身近にあり、農業に関わる業務に携わりたいという思いを持ち続けていました。また県庁では様々な業務にいろんな視点から携わることができ、その経験を通して自分自身の成長につなげることができると思います。志望しました。

藤岡:大学在学中に住んでいた地域が台風によって、死傷者や橋の崩落など大きな被害を受けたことがきっかけで、防災・減災という視点から県民の生活に貢献したいと思いました。加えて、学生時代、コロナ禍で「絆」便を通じて徳島県の特産品をもらったことをきっかけに、IターンやUターンの促進といった地方創生に関する施策に関心を持ったことも大きかったです。

仕事のやりがいは？

加賀:「業務が県内の介護サービスの質の向上につながっている」と感じられたときです。事業所に運営指導を行う際に、過去の指導後に苦情件数が減っているのを見たり、研修後に受講者から「研修で学んだことがすぐ役に立った」と報告を受けたりした時などにやりがいを感じられます。

大田:事業者や県民の方々、観光客の方々に感謝されたときには、役に立つことが出来たのだと実感することが出来ます。まだまだ勉強中ですが、お答えできないことも多々ありますが、些細なことでも感謝されると励みになります。また、私自身が担当の業務でなくとも、イベントなどで実際に観光客の方々の表情を見ると、県職員として働いていることを誇りに思えます。日々の業務は華やかなものばかりではありませんが、一つひとつこなせる業務が増えていき、上司の方に褒めていただけることも大きなやりがいの一つです。

働いてみて意外だったことは？

藤岡:新採などに関係なく、ひとりひとりに担当の仕事が割り当てられていることです。そのため仕事に慣れていくまでには大変な部分もあると思います。しかし、上司からのサポートがあって毎日少しずつできること、わかることが増えてきて面白さを感じています。

加賀:思っていたより、外に出る又は県民と関わる機会が多いことです。就活をするに当たって、県庁の業務について調べると「デスクワークが多く、自身の努力の結果が見え難い」などの情報を目にするのが多かったのですが、今担当させていただいている業務は事業所に向いたり、研修を開催したり、日々のお問い合わせに対応したりと、デスクワークばかりでなく、意外だと感じられました。やりがいも感じやすいと思います。

今後の目標は？

大田:世界と徳島をつなぐ仕事に関わりたいと思っています。インバウンドの観光客を増やすことも重要な施策のひとつですが、例えば英語教育をさらに発展させたり、あらゆるバックグラウンドを持つ方々が不自由なく徳島で過ごすことができる基盤をつくったり。そういった県全体に関わる壮大な事業を夢見ることができるのも県職員の特権だと思います。

尾田:今は野菜担当として、担当品目の栽培技術の指導や支援などの普及業務にあたっており、今後さらに栽培技術への知識を深め、担当品目のエキスパートになりたいです。

県庁を受験するにあたり試験対策は？

大田:大学の公務員講座を受講していました。筆記科目については、問題を覚えてしまうくらい同じテキストの問題を何度も解きました。当時はコロナ禍真っ只中で情報収集や面接対策に苦労した記憶があります。面接の内容は、丸暗記すると緊張で頭が真っ白になってしまったときに困りますし、面接官の印象にも残りづらいので、自分の中で譲れない「軸」を崩さ

ないように気を付けました。また、体調管理も試験対策の一つなので、直前期にはあまり夜遅くまで勉強しすぎず、試験当日と同じリズムで生活するようにしていました。

尾田:修士論文等で忙しかったため、専門科目を重点的に勉強し、一般教養は科目を絞って数的処理を中心に参考書で勉強しました。小論文・面接の対策として近年の農業関係の動向を重点にチェックしていました。

未来の県庁職員へメッセージを！

尾田:試験勉強や面接対策は大変だと思いますが、しっかりと対策をしていれば必ず合格できると思います。体調を崩さないように気をつけて、頑張ってください。一緒に働ける日を楽しみにしています！

藤岡:県庁には様々な仕事があり、多くの職員が徳島県のためにそれぞれ働いています。入庁してからのギャップを減らしていくためにも、説明会やインターンシップに積極的に参加して、その上で自分の関心のあることなことを把握しておく、モチベーションを維持でき、また自分の進むべきキャリアが見えてくると思います。日々の学業や仕事で大変だと思いますが、県職員として一緒に働ける日を楽しみにしています。

加賀:休息をしっかりとって、根を詰め過ぎないようにしてください。就職活動に学業に、人によっては実習やアルバイトなど忙しく、追い詰められてしまうこともあると思いますが、自分にとっての良い休息の取り方を学んでおくのも入庁後にプラスになるので、健康に気をつけて頑張ってください。一緒に働ける日を楽しみにしています！

大田:公務員試験の勉強は、孤独な戦いで苦しいこともたくさんあると思います。ですが、焦らずコツコツと続けることが何よりの近道だと私は思います。必要な時には周りの方々に頼りつつ、自分を信じて走り切ってください！徳島県庁と一緒に働く日を楽しみにしています。

**令和5年度
新規採用職員アンケート**


回答者 **133名**

(複数回答可)

Q1.県職員を目指した理由は？

- 徳島県内で働きたかったから(83名)
- 福利厚生がしっかりしているから(39名)
- 徳島県の発展や地域貢献に関わりたかったから(29名)

アンケートの全体はホームページをチェック！



令和5年度の新規採用職員の皆さんにアンケートに答えてもらいました！先輩職員のリアルな声を聞いてください。

Q2.県職員として働いてみた感想は？

- 職場の雰囲気がいい(50名)
- ・職場の雰囲気を温かく、風通しの良い職場だといえる
- ・思っていたより自由な雰囲気を感じた

Q3.仕事でやりがいを感じたことは？

- ・県民の方から感謝の言葉をいただけたとき
- ・これまで勉強・研究してきた知識・経験を職務に活かすことができたとき
- ・担当した工事で道路がとても綺麗になったとき

新規採用予定者内定式



令和4年度より、10月に新規採用予定者内定式及び内定者交流会を実施しています。知事による訓示や県庁にまつわるクイズ大会、先輩職員との座談会などを行い、内定者同士の親交を深めるとともに、入庁に向けた疑問・不安の解消を図っています。

新人職員メンター制度

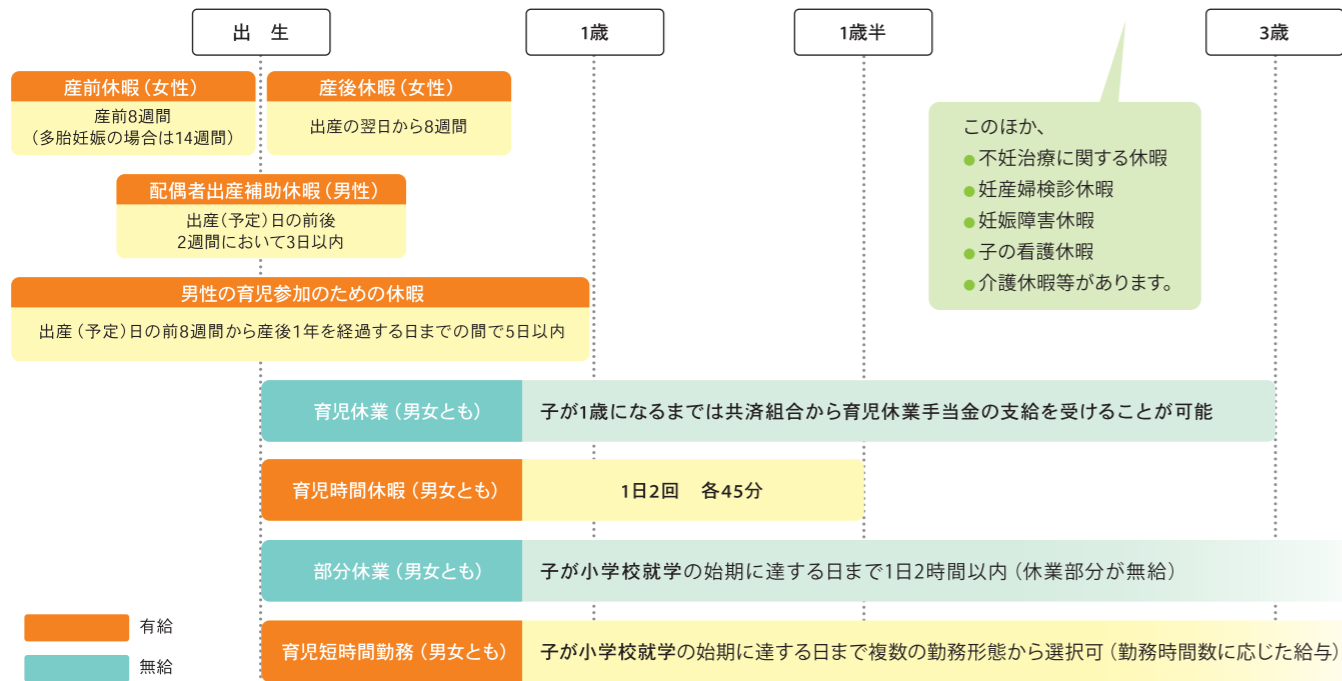
新人職員(新規採用から3年未満の職員)が抱える様々な悩みを気軽に相談できるよう、職場の身近な先輩職員が、職場生活の相談をはじめ、職場のマナーやルールなどの基本的なスキルの習得等をサポートする「新人職員メンター制度」を設けています。

Work Life Balance ワーク・ライフ・バランスの充実

● 子育て支援

徳島県では、「特定事業主行動計画」を策定し、職員の子育て支援の取組を推進しています。

子育て支援関係の主な休暇休業制度 ※ここでは一部のみを掲載しています。詳細な条件等は県ホームページで御覧いただけます。



● 育児体験記

仕事と家庭の両立を図り、男女問わずワーク・ライフ・バランスのとれた働き方を目指しています。子育てを行う県職員の声を参考にしてみてください。



ライフステージに合わせた働き方ができる

子ども未来局子どもまんなか政策課 主任主事
田岡 直大 平成27年度入庁

【過去の所属歴】

- 平成27年度：南部総合県民局県土整備部<阿南>
- 平成30年度：障がい福祉課
- 令和2年度：次世代育成・青少年課
- 令和5年度：子ども未来局子どもまんなか政策課(令和5年10月～令和5年12月 育児休業)



ワーク・ライフ・バランスを充実させることのできる環境がある

総合政策課 主任
高井 雅行 平成24年度入庁

【過去の所属歴】

- 平成24年度：西部総合県民局農林水産部<三好>
- 平成27年度：情報システム課
- 平成30年度：全国知事会派遣
- 令和2年度：総合政策課(令和5年6月～令和5年12月 育児休業)



仕事と子育てを両立できる制度、環境が整っている

東部県土整備局<徳島> 主任
秦泉寺 香寿美 平成25年度入庁

【過去の所属歴】

- 平成25年度：西部総合県民局県土整備部<三好>
- 平成28年度：運輸政策課(平成29年12月～平成30年9月 育児休業)
- 平成30年度：運輸政策課港にぎわい振興室
- 令和元年度：東部県土整備局<徳島>(令和2年9月～令和3年7月 育児休業)

県では、出勤・退勤時間を幅広く選択できるため、私は朝の保育所への送迎がしやすい午前9時出勤にしています。他にも、子どもの急な発熱等の場合には「子の看護休暇」を1時間単位で取得できるため、大変助かっています。長期間での育児休業を取得できることで、妻の負担の軽減や、家族の時間が増えたことはもちろん、県職員として、より当事者目線で子育て支援施策について考えられるようになったと思います。

育児休業の取得促進やワーク・ライフ・バランスの向上などは県が旗振り役として率先して取り組んでいることもあり、県職員の子育て支援への意識は高く、私以外にも育休を取得している男性職員が多数いるほか、気兼ねなく相談できる上司や同僚も多く、育児に参加しやすい環境となっています。その他にも、子育てに関する充実した休暇制度があり、夫婦ともに進んで育児に参加することができる基盤が整っているということは大きなメリットだと感じています。

私たち夫婦は県職員同士で、保育園児の子どもが2人います。両親は遠方に住んでおり頼ることができないので、夫婦で協力し育児をしています。私は育児のために、夕方2時間の部分休業を活用しています。子育ては仕事終わりからが本番です。保育園のお迎えから始まり、夕飯作り、お風呂、寝かしつけなど、自分の時間はおるか子どもの時間すらままならないかもしれません。部分休業を取得することで子どもの時間を確保でき、ワーク・ライフ・バランスのとれた働き方ができることは、大きなメリットだと思います。

研修制度・人事交流

一般研修

職員がその職務を遂行するために必要な知識、技能その他の基礎的教養を広く一般に修得させることを目的として、職位による階層別に行うものです。新規採用職員から管理職まで8階層としており、各階層に求められる実務執行、政策形成、組織マネジメントといった様々な能力向上を目指した研修を行っています。

新規採用職員研修

「地方自治法」などの関係法令や、「文書作成事務」「コンプライアンス」などの座学中心の課目に加え、「消防学校短期入校」、「防災士資格取得」、「地域との交流体験研修」などを導入し、実践的能力の修得に努めています。

令和5年度の主な派遣先

● 国・都道府県

内閣官房、内閣府、消費者庁、デジタル庁、総務省、外務省、財務省(※P4に派遣職員の声掲載)、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、鳥取県、香川県、愛媛県、高知県

● 民間企業・団体

2025年日本国際博覧会協会、日本航空、関西観光本部、四国ツーリズム創造機構、せとうち観光推進機構、西日本高速道路



令和5年度新規採用職員研修(消防学校短期入校訓練)



令和5年度新規採用職員研修(地域交流体験研修：NPO法人三嶺の自然を守る会)



令和5年度主任級研修(スキルアップ研修[政策立案])

県庁働き方改革

多様な働き方の推進

職員のウェルビーイングを向上させつつ、生産性を最大化できるよう、テレワーク等多様な働き方やDXを活用した業務効率化を進めています。

● 多様な勤務形態

自分のライフスタイルに合わせて、6パターンから勤務時間を選択することができます。

- ① 7:30～16:15
- ② 8:00～16:45
- ③ 8:30～17:15
- ④ 9:00～17:45
- ⑤ 9:30～18:15
- ⑥ 10:00～18:45

● テレワーク

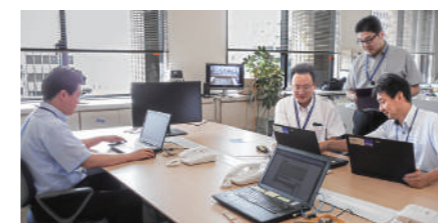
自分のパソコンを利用して、自宅でも職場と同じように仕事をすることができる環境を整備しています。通勤時間を家事や育児、自分の時間に充てられ、時間を有効活用できます。

魅力ある職場環境づくり

職員のワーク・ライフ・バランスの実現やこれからの世代に選ばれる県庁の創造に向け、働きやすく魅力ある職場環境づくりに取り組んでいます。

● 意識改革

残業前提の働き方から脱却し、定時退庁を前提とした働き方に転換すべく、抜本的な意識改革やゼロベースでの業務の見直しを進めています。



フリーアドレス制の導入など「フラットで柔軟な働き方」の実施

● 若手プロジェクトチームの結成

若手職員からなるプロジェクトチームを結成し、風通しがよく、働きやすい職場づくりに向け、意見を出し合い、取組を推進しています。



若手職員から知事へ働き方改革を提言

● 県庁子ども参観日等の実施

「親しみやすく、誰もが働きやすくなる県庁」の創造に向け、創意工夫を凝らした取組を進めています。



職員参加型イベント「県庁子ども参観日」

勤務条件等

給与制度・赴任旅費

● 初任給 (令和6年1月1日現在)

試験種別	試験区分	学歴	給料月額
大学卒業程度	行政事務ほか	大学卒	202,400円
	薬剤師	大学6卒	225,500円
	管理栄養士	大学卒	208,800円
	保健師	大学卒	232,800円
短期大学卒業程度	総合土木	短大卒	184,600円
高等学校卒業程度	行政事務ほか	高校卒	170,900円

● 諸手当

要件に応じて、地域手当、扶養手当、住居手当、通勤手当等が支給されます。また、期末・勤勉手当が年2回(6月と12月)支給されます。(令和5年度実績(2回合計):4.5月分)

● 赴任旅費

令和6年度より新規採用職員も対象!

採用等に伴い住居の移転を行った場合は、条例等の定めに基づく赴任旅費が支給されます。

※一定の職歴等がある者については、その経歴に応じて所定の金額が給料月額に加算される場合があります。
※警察官の勤務条件等については、徳島県警察本部ホームページをご確認ください。

民間企業等における職務経験年数及びその職務内容に応じ、個別に決定されます。

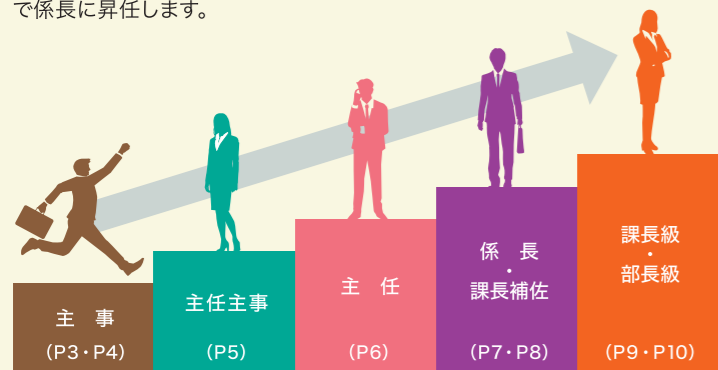
民間企業等職務経験者 (県外社会人枠)	(例) ① 採用時の年齢が30歳で、大学卒業後、民間企業に就職し、常勤職員(フルタイム)で8年勤務し、行政事務の試験区分で「主事」として採用された場合、給料月額225,000円程度です。	(例) ② 採用時の年齢が40歳で、大学卒業後、民間企業に就職し、常勤職員(フルタイム)で18年勤務し、行政事務の試験区分で「主任」として採用された場合、給料月額285,000円程度です。
------------------------	---	--

キャリアデザイン ※イメージは一例であり、職種等によって年数は異なります。

徳島県では、事務職と技術職の職種の垣根を越えた人事異動による職域の拡大を推進しており、採用職種に関わらず、知識・経験・能力を活かし、様々な分野で活躍できます。

昇任は、経験や勤務成績等に基づく選考により行われます。

例えば、事務職では主事→主任主事→主任→係長→課長補佐→副課長→課長→副部長→部長となります。早い人で32~33歳で主任に、38~39歳で係長に昇任します。



※役職ごとのインタビューを掲載。カッコ内のページをチェック!

庁内公募制度

特定分野(法務、DX、児童福祉、国際、文化・観光等)における専門性をもった職員を養成するとともに、職員が有する能力・意欲をより一層発揮できる機会を作るため、入庁後一定年数を経過した職員が、自ら手挙げ方式で希望コースに応募できる制度を設けています。

- ・専門職養成コース:特定分野におけるスペシャリストを養成するコース
- ・専門職チャレンジコース:特定分野で頑張りたいという意欲を人事に反映し、「専門職養成コース」へのステップアップを念頭にいたコース
- ・派遣コース:国省庁、他県、大学、団体等に派遣

休日・休暇



原則として、土曜日、日曜日、祝日及び年末年始(12月29日~1月3日)は休みです。また、リフレッシュ休暇、介護休暇、夏季・慶弔・出産・育児・不妊治療などの特別休暇があります。

男性職員の育児休業取得率 84.1% (令和5年12月1日時点速報値)

人事異動

事務職の新規採用者は、約2分の1が政策企画部門を中心とした職場に、約2分の1が現場に近い職場に配属されます。人事異動は2~4年サイクルが基本で、いろいろな部署を経験できるようになっています。人事異動に当たっては、異動先の希望を、自己申告する機会が設けられています。ただし、必ずしも希望どおりになるとは限りません。

福利厚生

住宅の確保を必要とする職員のため、勤務庁舎周辺各所に職員住宅を備えています。また職員の安全及び健康を確保し、公務能率の向上を図るため、健康診断・人間ドックなどを実施しています。さらに、共済組合・互助会があり、給付・貸付事業、福祉事業などを行っています。

組織図 (令和6年度)



職種紹介

行政事務	電気	機械	建築
総合土木	農業	林業	水産
薬剤師	管理栄養士	心理	保健師
化学	司書	福祉	獣医師
学芸員	診療放射線技師	臨床検査技師	

※掲載されている職種の採用が毎年あるとは限りません。また、上記以外の職種を募集することもありますので、ホームページなどで最新情報をチェックしてください。

■ よくある質問 ■

採用試験の試験区分や採用予定人数は、いつ公表されますか？

A 採用試験の試験区分や採用予定人数は、4月下旬から5月上旬の間に徳島県職員採用案内ホームページ等で公表する予定です。
 なお、年度によって、採用試験を行わない試験区分もありますので、必ず受験される年度の各試験の『試験案内』等でご確認ください。

「大学卒業程度」の試験は、大学卒業（卒業見込み）者でなければ、受験できないのですか？
 「短期大学卒業程度」や「高等学校卒業程度」の試験とは、どのように違うのですか？

A 「大学卒業程度」の県職員等採用試験は、大学卒業程度の学力を必要とする試験であり、大学卒業の学歴を受験資格とするものではありません。大学卒業の学歴の有無に関わらず、年齢等の受験資格を満たしていれば受験できます。また、「短期大学卒業程度」及び「高等学校卒業程度」の採用試験も同様です。
 なお、「大学卒業程度」、「短期大学卒業程度」では、年齢等の要件のほか、職種に応じて必要とされる免許等が資格要件となる職種があります。試験のある職種等は、年度によって異なる場合がありますので、受験される年度の『試験案内』等でご確認ください。

年齢、性別、出身校、職歴や県外の出身などは、採用試験の可否に影響しますか？

A 県職員、警察官等の採用試験は、公平・公正に実施しており、受験資格を満たしていれば、どなたでも受験でき、年齢、性別、出身校、職歴や出身地などが可否に影響することはありません。

採用試験の内容について教えてください。また、過去の試験問題は公開されていますか？

A 第1次試験問題については、公開していません。第1次試験の試験種目や出題数、出題分野については、それぞれの『試験案内』でお知らせします。
 また、過去の出題問題と同程度の問題について、「例題」として公表していますので、問題の形式、難易度等の参考にしてください。（試験のある年に公表したものを含め3年分を公表しています。）第2次試験の論文試験及びプレゼンテーションについては、直近の過去3年間に出版した課題を公開しています。これら例題等については、県のホームページに掲載しているほか、県庁1階にある県庁ふれあいセンターにおいて、閲覧できます。

複数の採用試験を受験することはできますか？

A 県職員、警察官等の採用試験について、それぞれの試験種別や試験区分の受験資格を満たしていれば、受験日が重なっていない限り、受験可能です（例えば「県職員採用試験（大学卒業程度）」と「警察官A」など）。ただし、同じ試験の中で複数の試験区分の受験申込（例えば「大学卒業程度」の【行政事務】と【警察事務】など）はできません。複数の試験区分に申し込んだとしても、最初に受理した試験区分で受付を行いますので、複数の試験区分への申込みはしないようご注意ください。また、受験資格の異なる「警察官A」及び「警察官B」を同一年度に両方受験することは、認められません。

採用試験に合格すると、必ず採用されるのですか？

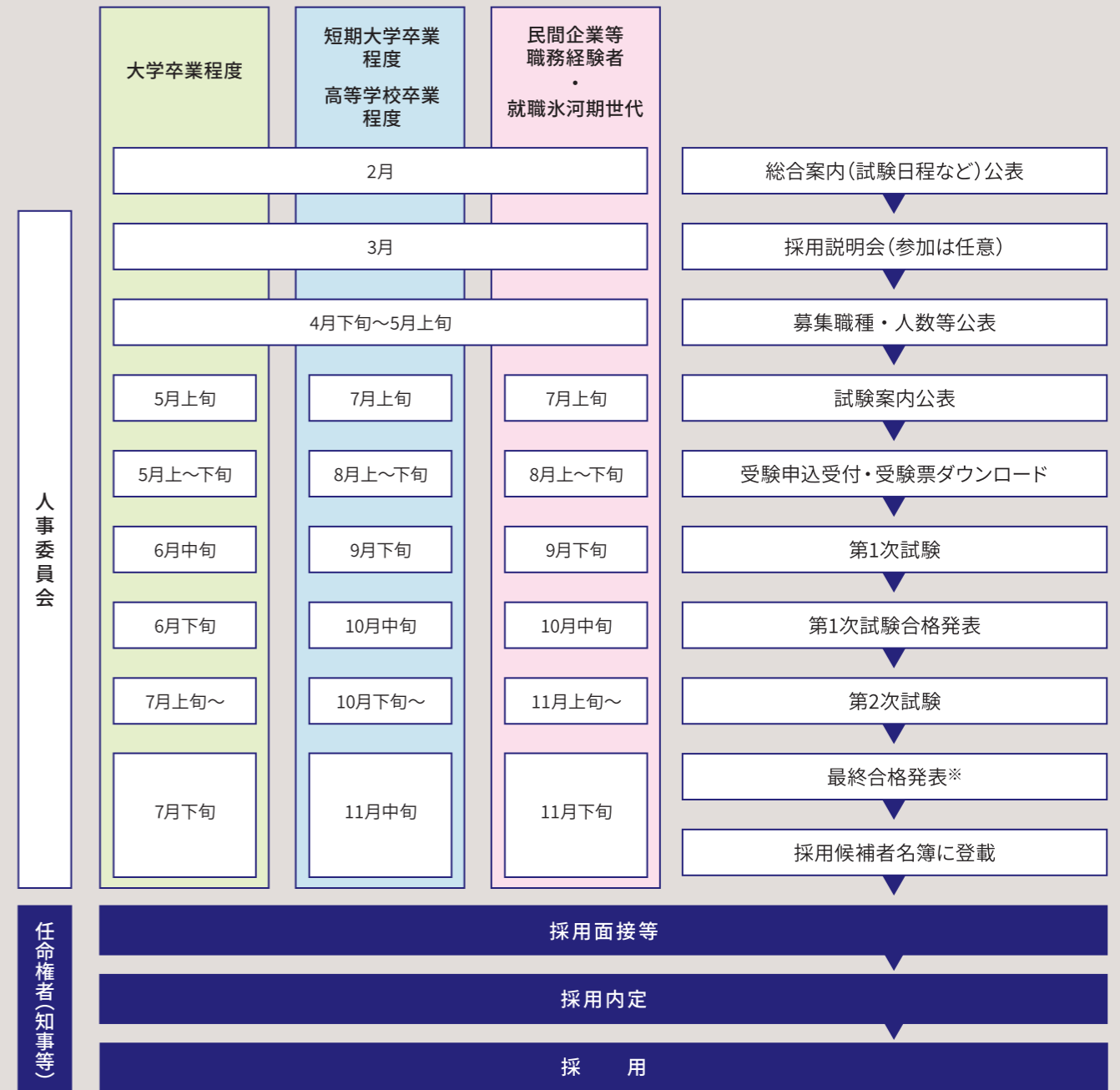
A 県職員、警察官等の採用試験の最終合格者は、人事委員会が作成する採用候補者名簿に記載され、その中から各任命権者（知事、教育委員会、警察本部長など）が、採用面接又は入庁の意向確認等を行い採用者を決定します。したがって、必ずしも最終合格者全員が採用されるわけではありません。

その他の質問は、こちらでご確認ください！
 ● 徳島県職員採用案内 > よくある質問

■ 採用までの主な流れ ■

● 令和6年度は採用試験が大きく変わります。詳しくは採用案内ホームページをご確認ください。

試験の種類や実施年度によって異なる場合がありますので、必ず試験案内を確認してください。



※採用候補者名簿登載後に、任命権者が採用面接等を行い採用者が決定されます。したがって、人事委員会での最終合格者全員が採用されるとは限りません。

試験に関する情報・問合せ

徳島県職員
採用案内ホームページ
<https://www.pref.tokushima.lg.jp/saiyou/>



SNSでも
情報発信中!



徳島県人事委員会事務局任用課

〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地 徳島県庁5階
TEL.088-621-3212 FAX.088-621-2887 E-mail:shiken@mail.pref.tokushima.jp

徳島県経営戦略部人事課

〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地 徳島県庁3階
TEL.088-621-2358 FAX.088-621-2825 E-mail:jinjika@pref.tokushima.jp

※当パンフレットの掲載内容は、令和6年1月現在のものです。